

課題番号：共-4

課題名	廃炉プロセス「共通項目」 検討対象「耐放射線性」 課題「」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	-		燃料デブリ取り出し		1		
ニーズ	望ましい状態とその理由		PCV/RPV/建屋の解体				
			輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復				
			(参考) 関連する研究課題				
1	耐放射線性技術を確立した ため、現場適用可能な耐放射線技術や材料の開発が望まれる。 ●課題として可視化の前提としてのCMOSなどデバイスの耐放射線性がある。高放射線下での画像データ伝送までを行う処理デバイスが可視化データの前提として必要である。	【実施されている研究課題】					
		H28年度英知「廃炉作業ロボット向け耐放射線組み込みシステムの開発」 H31年度英知「再臨界前の中性子線増に即応可能な耐放射線FPGAシステムの開発」 H31年度英知「耐放射線性ダイヤモンド半導体撮像素子の開発」					
		【検討されている研究課題】					
		課題リスト「耐放射線性材料」					
		課題リスト「耐放射線電子回路等の開発」					
関連する課題	デブリ-101「燃料デブリの状況把握」 デブリ-102「PCV・RPV内部の構造物の状況把握」 デブリ-103「FPの状況把握」 デブリ-104「PCV・RPV内部の線量の把握」						